

おひさまの恵みを 有効に利用しよう

袋井市は、年間の日照時間が約2,200時間で、全国的にも日照時間が長い地域。

無限なクリーンエネルギーを活用する太陽光発電は、年々深刻化する石油や石炭などのエネルギー資源問題の有力な解決策の1つとなっており、温室効果ガスといわれる二酸化炭素を排出しないので、地球温暖化対策としても大きく期待されています。

皆さんも、環境にも家計にもやさしい太陽光発電を導入しませんか。

☎環境政策課環境企画係 ☎44-3135

「新エネルギー機器導入促進奨励金」を ご利用ください

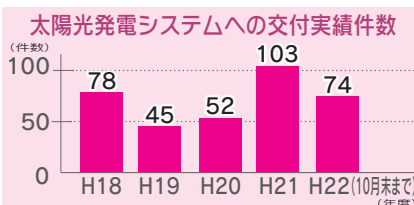
◇市では、住宅用の太陽光発電システム(電力会社と契約を締結したものを)を設置された方に、奨励金を交付しています。

対象 市内に住所があり、市税を滞納していない方

助成金額 購入したシステムの太陽電池モジュールの最大出力1kW当たり2万円で、上限8万円(平成22年4月1日以降に購入した機器が対象)。

申請時期 機器を設置した後 ※当該年度の予算の範囲内で交付するため、設置後お早めに申請手続きをお願いします。

申請方法 市役所2階環境政策課にある申請様式に必要事項を記入し、必要書類を添えて申請してください(申請様式は、市ホームページからダウンロードすることもできます)。



太陽光発電システム以外の機器も 奨励金交付の対象になります

対象 ①太陽熱利用システム②太陽熱温水器③風力発電機④クリーンエネルギー自動車⑤ヒートポンプ型給湯器⑥潜熱回収型給湯器⑦ガスエンジン給湯器

限度額 ①②…3万円 ③～⑦…2万円

導入が進む「住宅用太陽光発電システム」
市内では、住宅に太陽光発電システムを導入する家庭が、年々増加傾向にあります。地球温暖化防止に対する市民の関心が高まり、各家庭で、CO₂削減に向けた取り組みが着実に進んでいます。

～太陽光発電システムを導入したお宅を訪問！～

◇小山甲紀さん(可睡の杜南)のお宅(夫婦と子ども2人の4人世帯)では、昨年10月に太陽光発電システム(4.59kW)を導入しました。

◇今年9月14日～10月14日の太陽光発電の実績を伺いました。

Q2 この期間の使用電力量(買電量)は？

A1 午前9時～午後5時(デイトタイム)	8kwh
午前7時～9時と午後5時～11時(ホームタイム)	188kwh
午後11時～午前7時(ナイトタイム)	201kwh
合計使用電力量(買電量)	397kwh
使用電力量料金(税込)(支払額)	7,391円

Q2 この期間の受給電力量(売電量)は？ ※売電単価48円/kWh

A1 受給電力量(売電力)	301kwh
受給電力量料金(税込)(入金額)	14,448円

◇売電料金の方が買電料金より多く、7,057円の黒字でした。

Q2 導入してどんなことが変わりましたか？

A1 導入前に比べて、電気料の請求額が少なくなりましたが、太陽光発電システムの償却費もあるので、今のところお得感は少なめです(導入前の光熱費は電気とガス2種類の請求でしたが、現在はオール電化で、ガスは使わないため、電気料のみの請求)。

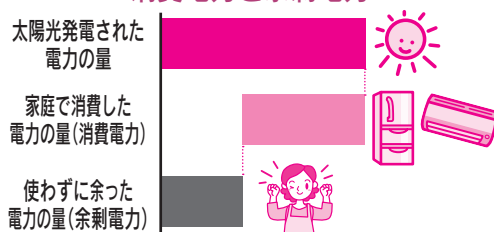
しかし、長い目でみると、自然にやさしい点や家族で節約を意識する機会が増えた点など、導入して良かったと思えます。



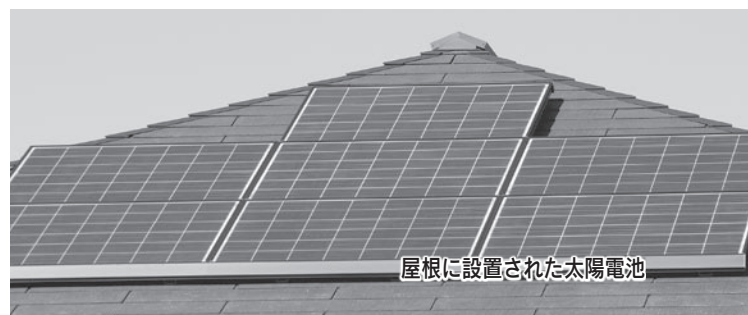
モニターを見ながら
節約方法を家族で考えます

**ご存知ですか？
「太陽光発電買取制度」**
昨年11月から「太陽光発電の買取制度」がスタートしました。
これは、太陽光発電システムによって作られた電力のうち、使われずに余った電力(余剰電力)を、住宅用の場合、従来の2倍程度の価格である48円/kWh(平成23年3月31日までに契約の場合の価格10年間固定)で、電力会社に売ることが出来る制度です。
下の図のとおり、太陽光発電した電力量が同じでも、家庭で消費する電力量を抑えれば、それだけ多くの電気を余剰電力として売却することが可能です。
また、電気の売り買いは自動的に行われ、

消費電力と余剰電力



売った分の電気代は契約者の口座に振り込まれます。



屋根に設置された太陽電池